

## 県立南宇和病院との連携

### 愛媛大学医学部4回生研修

県立南宇和病院の村上院長より、愛媛大学医学部4回生が「地域医療の現場を知る」ことを目的として、施設研修の依頼をいただきました。令和元年12月～令和2年3月までの長期に渡り毎週来館されました。研修内容は、老人保健施設の役割、県立南宇和病院との連携、介護保険サービス事業所との連携、当館の取り組み（在宅復帰、ターミナル）等です。特に力を入れて伝えていることは、都会では味わえない、人とのつながりが作る地域医療・保健・福祉のやりがいです。どの医大生さんも気さくに利用者様に話しかけられ、口々に当館の環境の良さを褒めてくださいました。

約20名の医大生さんが愛南町に来られ、当館以外にも特別養護老人ホームや訪問看護、訪問診療等の研修を受けられました。将来医師となった時、愛南町を思い出して赴任してきてくれることを密かに期待しています。今後もこのような取り組みに積極的に参加し、愛南町の医療・保健・福祉がつながりあうことで、住民が安心して暮らせる地域作りに貢献していきたいと思えます。カンファレンス等の参加に快くご協力いただいたご家族様、ありがとうございました。



### 県立南宇和病院新人看護師研修

昨年より県立南宇和病院の新人看護師研修の受け入れを行い、今年も3名の新人看護師さんが2日間来られました。研修の目的は「在宅復帰に向けた生活支援の実際を学ぶ」でした。研修内容は、老人保健施設の役割や在宅復帰支援の学習を行い、在宅での訪問指導にも参加されましたので、病院から施設、そして在宅生活までの経過が実感できたのではないかと思います。新人の看護師さんはとても明るく、熱心に研修に取り組む姿勢は、今後の医療連携に益々明るい光を差してくれるような期待をもたせてくださいました。今後も積極的に研修を受け入れ、医療・保健・地域がつながり合うことの重要性を共有できればと思っています。

在宅訪問等、快くご協力いただいたご家族様、ありがとうございました。



## 作品作り

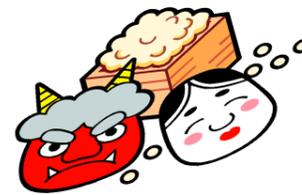
今年の干支のねずみの貼絵を作りました。表情豊かなねずみができました。

完成で～す



## 節分

赤鬼・青鬼めがけて、大きな豆をまきました。最後は仲良く記念撮影で節分行を終えました。春はもうすぐです。



## 憩いの会

入所者様のリクエストにお応えしてお茶会を開催したり、カップ麺をいたりしました。日頃味わえない食べ物に入所者様も喜ばれていました。



とってもおいしい～



うまいな～また食べたいな～



## 作品紹介

入所者様のご自慢の作品をご紹介します。



(吉田清峯書)



(里水)

水仙の一条ねじれて咲きにけり

七草や草の名忘れ粥を食う